

確率変数  $X$  の平均・分散

$$\text{平均: } E(X) = \sum_{k=1}^n x_k p_k$$

$$\text{分散: } V(X) = \sum_{k=1}^n \{x_k - E(X)\}^2 p_k$$

確率変数  $X$  が、 $a, b$  を定数として、

$$Y = aX + b \rightarrow y_k = ax_k + b$$

と一次変換されたとき、 $Y$  の平均は次のようになる。

$$E(Y) = aE(X) + b$$

分散  $V(Y)$  と標準偏差  $\sigma(Y)$  はどのようなになるだろうか？

$$\begin{aligned} V(Y) &= \sum_{k=1}^n \{y_k - E(Y)\}^2 p_k \\ &= \sum_{k=1}^n \{(ax_k + b) - (aE(X) + b)\}^2 p_k \\ &= \sum_{k=1}^n \{ax_k - aE(X)\}^2 p_k \\ &= a^2 \sum_{k=1}^n (x_k - E(X))^2 p_k \\ &= a^2 V(X) \end{aligned}$$

一次変換と平均・分散・標準偏差

$Y = aX + b$  と一次変換すると、

$$E(Y) = aE(X) + b$$

$$V(Y) = a^2 V(X)$$

$$\sigma(Y) = |a| \sigma(X)$$

**例 1** 1 個のサイコロの出る目の数  $X$  の平均と分散は、

$$E(X) = \frac{7}{2}, \quad V(X) = \frac{35}{12}$$

この確率変数  $X$  を  $Y = 6X + 2$  と変換したとき、 $E(Y), V(Y), \sigma(Y)$  の値を求めよ。

答  $E(Y) = \quad V(Y) = \quad \sigma(Y) =$

**問 1** 3 枚の硬貨を投げたとき、表の出る枚数  $X$  の平均と分散は、

$$E(X) = \frac{3}{2}, \quad V(X) = \frac{3}{4}$$

この確率変数  $X$  を  $Y = -10X + 3$  と変換したとき、 $E(Y), V(Y), \sigma(Y)$  の値を求めよ。

答  $E(Y) = \quad V(Y) = \quad \sigma(Y) =$

**例 2** 確率変数  $X$  の平均は  $m$ 、標準偏差は  $s$  である。 $Z = \frac{X - m}{s}$  と変換したとき、 $Z$  の平均と標準偏差を求めよ。

答  $E(Z) = \quad \sigma(Z) =$

**問 2** 確率変数  $X$  の平均は  $m$ 、標準偏差は  $s$  である。 $Z = 50 + \frac{10(X - m)}{s}$  と変換したとき、 $Z$  の平均と標準偏差を求めよ。

答  $E(Z) = \quad \sigma(Z) =$

